



2019年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【福岡県】

学校名【福岡県立 北九州高等学校】

1 実践テーマ	I ・ II ・ (III) ・ IV ・ (V)
2 実施対象者 (学年・人数)	福岡県立 北九州高等学校 体育コース 第2学年 39名
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名 (スポーツVI)</p> <p>② 行事名 (オリンピック・パラリンピック教育)</p> <p>③ その他 ()</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名 ()</p> <p>② その他 ()</p>
4 目 標 (ねらい)	2020年に行われる東京オリンピック・パラリンピックについての興味・関心を高めるとともに、パラリンピック種目を体験し、種目に関する知識や用具・施設についての理解を深め、スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築を図る。
5 取組内容	<p>2020年に行われる東京オリンピック・パラリンピックについて興味・関心を高めるとともに、パラリンピック種目である車いすバスケットボールを経験し、種目に関する知識や用具等についての理解を深めることを目的として実施した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>【講義・実技】</p> <p>車いすバスケットボールの基本のルールや選手の障がいの程度によって持ち点があること等を教えていただき、車いすバスケットボールとバスケットボールとの違いについて学んだ。</p> <p>その後、実技に入り車いすバスケット車の基本操作、ドリブル、</p>

	<p>シュートと基本の練習を行った。基本練習の後は、4つのグループに分かれ総当たり戦での簡易ルールของเกมを実施した。</p> 
6 主な成果	<ul style="list-style-type: none"> ・車いすバスケット車の操作をしながらバスケットボールを行うパラリンピック種目の難しさを実感できた。 ・競技を体験したことで、パラリンピック種目、障害者スポーツへの興味・関心を示すようになった。
7実践において工夫した点 (事業の特色)	<ul style="list-style-type: none"> ・北九州市障害者スポーツセンターの方に協力していただいて実施した。 ・ゲームのルールを1つだけに絞り、全員がゲームを楽しめるように行った。
8主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に体験することで、その競技の特性や難しさを感じることができるので、多くの競技・種目を取り組める環境が必要だと感じた。
9来年度以降の実施予定	<p>スポーツには、多様な関わり方があるので実践するだけでなく見る・支えるという関わり方も学ばせていきたいと考える。</p> <p>また、体育コースの生徒を対象とするだけでなく各学年・普通コースの生徒も対象に実施していけるよう取り組んでいきたいと考える。</p>